

◇◇近畿病院図書館協議会◇◇

平成 26 年度 第 41 回 総 会 報 告



日時：2015 年 3 月 19 日（木）
13：00～14：30

会場：キャンパスプラザ京都 4 階 第 3 講義室



総会プログラム

開会

- 1 会長挨拶
- 2 議長・副議長・書記 選出
議長：春日井泉江（名記念）
副議長：中島 志乃（鳥中病）
書記：柴田真由美（豊 橋）
- 3 議案審議
 - 1) 平成 26 年度活動報告
 - 2) 平成 26 年度会計・監査報告
 - 3) 審議事項
 - 4) 平成 27 年度活動方針
 - 5) 平成 27 年度事業計画
 - 6) 平成 27 年度予算
 - 7) 平成 27 年度役員改選結果
幹事：井上智奈美（三菱京）
川野 眞樹（京二赤）
寺澤 裕子（関労災）
事務局会計兼任
畑 美之（阪警察）
藤原 純子（音羽病）
松井美紗枝（大労災）
事務局総務兼任
監査：石川 尚子（住 友）
村瀬 美佐（滋賀医）
（選挙管理委員：岩崎 智子（コープ）
水口 碧（近血液））
- 8) 平成 27 年度会長・事務局長承認結果
会長：武内俊史氏（洛和会音羽病院院長）
事務局長：増田徹氏（藍野大）

（議案 3）～8）は審議の結果承認された）

閉会

総会員数：119 機関（うち議決権 115 機関）

出席：28 機関

委任状：60 機関

合計：88 機関（会員の 2/3 以上の数をみ
たし総会成立）

議案 I. 平成 26 年度活動報告

平成 26 年度も、例年同様の事業活動が行えた。研修会 3 回、勉強会 2 回、交流会 1 回を開催し、また中国四国九州地区の病院図書館が所属する中国四国九州医学図書館ネットワークと、「病院図書館の ILL」をテーマにした交流会を行った。会誌は発行頻度を年 2 回に減らしたが、独創的な特集や連載を続けている。統計調査は今年度より調査用紙をデータでの配布にシフトし、回答もデータでの提出を義務付け、マクロを使用した集計方法を整備した。また実データを公開可とした施設に対し実データの配布も開始し、今年は 52 施設が公開可とした。ホームページについては昨年度運用を開始した会員専用ページ「近^{きんとうん}図雲」が会員に浸透している。今年度も改修を重ね、高い完成度に到達した。目録サポートチームでは、今年度も KITOcat を安定して運営することができた。今年度は協議会の共同リポジトリ開設に向けて模索した。第 136 回事例報告会にて報告し、今後について総会で会員に諮りたい。

1-1. 協議会の運営

1-1-1. 会員の状況

会員数：119 機関（会員 115、賛助会員 4）

(2015年2月現在)

入 会：3機関 大阪市立総合医療センター、
大阪府済生会中津病院、滋賀県立成人病センター

退 会：4機関 公立甲賀病院、京都民医連
第二中央病院、医仁会武田総合病院、
市立川西病院

1-1-2. 役員会

1. 活動報告

2015年2月18日(水) 藍野大学 6名

役員会は、2015年2月18日、藍野大学において平成26年度役員会が開催された。役員会資料(平成26年度議案書草案)に沿って議事進行し、平成26年度の活動報告、会計報告を審議し、一部語句の修正を加えて了承された。また、平成27年度の活動方針案、事業計画案、予算案についても同様に審議され、追加・訂正を加えて総会に諮ることになった。

次に、平成27年度会長については武内俊史 洛和会音羽病院院長が選出された。また、事務局長には増田 徹(藍野大)が選出された。会則に則り、それぞれ今年度の第41回総会に諮ることになった。

2. 平成26年度役員

会 長：井出 千束(藍野大学中央図書館
長)

事務局長：増田 徹(藍野大)

幹 事：井上智奈美(三菱京)

川野 眞樹(京二赤)

寺澤 裕子(関労災)

事務局会計兼任

畑 美之(阪警察)

藤原 純子(音羽病)

松井美抄枝(大労災)

事務局総務兼任

監 査：石川 尚子(住 友)

村瀬 美佐(滋賀医)

1-1-3. 幹事会

1. 活動報告

4回の幹事会を開催し、会の運営にあたった。

第1回 2014年4月18日(金)

大阪警察病院 7名

第2回 2014年7月18日(金)

大阪警察病院 5名

第3回 2014年10月22日(水)

藍野大学 6名

第4回 2015年1月19日(月)

大阪警察病院 6名

1-1-4. 事務局

1. 活動報告

(1) 総会・役員会・幹事会の開催

(2) 会計業務ならびに関係書類の整備

(3) ニュースレターの配信

28号(2014年3月14日)

前年度総会議案書送付後の配信

29号(2014年5月23日)

30号(2014年8月29日)

31号(2014年11月20日)

32号(2015年2月17日)

(4) 交流会の開催

第8回交流会 in 大阪(2014年10月4日)

参加者：13名

(5) 電子ジャーナルのコンソーシアム価格の提案

EBSCO Publishing とサンメディアより電子ジャーナルのコンソーシアム価格による提供を受けた。2014年8月30日に会員に資料を発送した。またコンソーシアム価格での提供に向けて、SAGE Publications から、近畿病院図書館協議会向けに「Clinical Medicine パッケージ2014」の3カ月間無料トライアルのご提案があり、2014年10月1日～12月31日の期間行った。

(6) 対外活動

2014年5月30日(金)、31日(土)に日本科学未来館にて開催された、第85回日本医学図書館協会総会へ会長代理として事務局長の増田が出席した。

2014年6月21日(土) 岡山国際交流センターレセプションホールにて、中国四国九州医学図書室ネットワークとの交流会を行った。各ネットワークの紹介に加え、ともに利用しているKITOcatのILLについて理解を深め、意見交換を行った。

(7) 総会記念講演

日 程：2015年3月19日(木)
 時 間：13時20分～14時20分
 場 所：キャンパスプラザ京都 4F 第3講義室
 演 題：成人期の発達障害
 昭和大学医学部精神医学講座
 主任教授 岩波 明氏

1-2. 各部からの報告

1-2-1. 研修部

1. 活動報告

2回の勉強会、3回の研修会を開催した。

(1) 研修企画

第38回勉強会

日 程：2014年6月21日(土)
 時 間：9時45分～12時30分
 場 所：岡山大学附属図書館鹿田分館
 テーマ：図書館、貴重書エリアの見学
 参加者：14名(昼食会15名)

第39回勉強会

日 程：2014年8月23日(土)
 時 間：13時30分～17時00分
 場 所：社会福祉法人恩賜財団済生会支部
 大阪府済生会中津病院

テーマ：新任者講習会

プログラム：

- ① 近畿病院図書室協議会について
 藍野大学中央図書館 増田 徹氏
- ② 病図協100%活用術
 八尾市立病院図書室 谷口裕美子氏
- ③ 病院図書室の基本業務
 洛和会音羽病院図書室 藤原 純子氏
- ④ 文献入手(ILL)について
 京都桂病院図書室 椎木 淳美氏

⑤ KITOcatの使い方

京都第二赤十字病院図書室
 川野 眞樹氏

⑥ ホームページ紹介・近図雲の使い方

関西労災病院図書室 寺澤 裕子氏

⑦ 大阪府済生会中津病院図書室見学

参加者：27名

第134回研修会

日 程：2014年9月27日(土)
 時 間：10時00分～17時00分
 場 所：総合生涯学習センター(大阪市北区
 梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル
 5・6階)

【午前】5階 メディア研修室(視聴覚室)

【午後】5階 第4研修室

テーマ：病院図書館の機能向上—図書館システムとリポジトリ—

プログラム：

- ① オープンソースの図書データベースシステムNext-L Enjuについて
 独立行政法人物質・材料研究機構
 田邊 浩介氏
- ② リポジトリの登録作業(メタデータの記述)
 アグレックス 河原香代子氏
- ③ 資料の電子化(スキャン、OCR)
 関西福祉大学 西本 朱美氏
- ④ リポジトリにまつわる著作権
 大阪大学附属図書館 前田 信治氏

参加者：27名(会員21名、会員外2名、講師4名)

第135回研修会

日 程：2015年1月24日(土)
 時 間：10時00分～17時00分
 場 所：総合生涯学習センター(大阪市北区
 梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル
 5・6階)

【午前】5階 第3研修室

【午後】メディア研修室(視聴覚室)

テーマ：文献検索アップデート

プログラム：

① はじめてのPubMed Linkout

洛和会音羽病院図書室 藤原 純子 氏

② PubMed (上級編)

京都府立医科大学附属図書館
山下 ユミ 氏

③ 医中誌 Web (中級編)

杏林大学医学図書館 諏訪部直子 氏

参加者：46名(会員33名、講師2名、企業
11名)

第136回研修会

日 程：2015年3月19日(木)

時 間：10時00分～12時00分

場 所：キャンパスプラザ京都4階 第3講義
室

テーマ：事例・研究報告会

プログラム：

① 近畿病院図書室協議会に入会して

大阪府済生会中津病院図書室
吉原 理恵 氏

② オートシェイプを使ったイラスト作成

三菱京都病院図書室 青柳 智子 氏

③ はじめてのPubMed LinkOut 設定

西尾市民病院図書室 浅井 裕子 氏

④ 共同リポジトリ開設への第一歩

—リポジトリプロジェクトチームの活動—
洛和会音羽病院図書室

藤原 純子 氏

京都第二赤十字病院図書室

川野 眞樹 氏

鳥根県立中央病院図書室

高橋真由美 氏

八尾市立病院図書室 谷口裕美子 氏

関西労災病院図書室 寺澤 裕子 氏

藍野大学中央図書館 増田 徹 氏

⑤ 「選書ツアー」の取り組み

愛仁会看護助産専門学校

酒井紀美子 氏

(2) 部会

第1回 2014年4月29日(火) 大阪6名

研修部会は、勉強会や研修会の前後の時間を
利用したほか、電子メール、近図雲にて会議を
行った。

2. 今年度総括

平成26年度も例年と同じ回数の研修会と勉強
会を開催した。6月に開催した第38回勉強会は
病図協にとって初めての中国地区での勉強会開
催であった。岡山は中国四国九州地方の交通の
要所であり、関西からのアクセスも良いため、
今後もイベントを企画したい。研修会は文献検
索データベースや図書館システム、リポジトリ
システムについてのテーマで行い、それぞれに
素晴らしい講師から学ぶことができた。近年、
会員施設での研修会開催が難しく、今年度は医
療従事者を講師に迎えることができなかったこ
とが反省点である。病院図書館の協議会として、
利用者である医療従事者からの学びと繋がりを
大切にしていきたい。会員の皆さまには、ぜひ
会場提供にご協力いただきたい。

3. 部 員

部 長：藤原 純子(音羽病)

部 員：雨乞 久美(阪日赤)～2014年9月

椎木 淳美(京都桂)

高橋 育子(姫路マ)

谷口裕美子(八尾)

1-2-2. 会誌編集部

1. 活動報告

会誌33巻2号および34巻1号を発行。

配布部数：189部(会員119、購読会員45、
交換・寄贈25)

印刷部数：各号300部

(1) 会誌内容概略

33巻

2号(発行2014年9月57頁)

特集：病院図書館の環境と利用マナー

—図書館のマナーについて 一管理に役立つ図
書2冊の紹介—

—静かな図書館 一図書館利用のマナーにつ
いて考える—

図書館環境アンケート結果
ブックカフェ取材記

34 卷

1号 (発行 2015年3月130頁)

特集1: 機関リポジトリ —病院図書館でもできるのか?—

機関リポジトリをする意味

機関リポジトリの開設と維持運営について
—関西福祉大学リポジトリの事例—

医学情報とリポジトリ

機関リポジトリシステム導入とランニング
コスト

パネルディスカッション: 病院図書室
における機関リポジトリの可能性

特集2: 総会・事例報告会 (第133回研修会)
「DynaMed」と「MEDLINE with Full Text」
および電子ジャーナル導入とILL件数の
変化

病院機能評価・卒後臨床研修評価を受審
して

洋雑誌の電子ジャーナル化計画

Kinki Webcat から KITOcat へ 一目録サ
ポートチームからの報告—

近畿病院図書室協議会のホームページ改修
について

総会記念講演: 今は昔、病図協が若かった
頃

(2) シリーズ掲載

「図書館員のツボ」

27. エンゼルメイク

28. ちょっとだけエクセル関数 日付の表示
形式

「Libpedia —よくわかる用語解説—」

7. 電子資料 (契約編)

8. 機関リポジトリ

「ちょっとこぼれ話」

40. (Vol. 33 No. 2)

(3) 掲載広告各社

サンメディア

ユサコ (33巻2号)

医学中央雑誌刊行会

丸善

(4) 部会

第1回 2014年5月11日(日) 茨木5名

第2回 2014年8月10日(日) 茨木5名

第3回 2014年12月14日(日) 茨木5名

2. 今年度総括

年2回発行となったが発行の遅れを取り戻す
べく、平成26年度は3冊発行をめざし活動した。
しかし、1冊あたりの分量が多くなり、結局年2
冊発行となった。発行回数が減っても特集数や
原稿数が年4回発行の時とそれほど変化しな
かったことによると思われる。

33巻2号は、会員の皆さまからのご協力によ
り回答いただいたアンケート結果を元に、図書
館の実務に即した内容となったと感じている。
部員一同より感謝申し上げる。

34巻1号は、特集が2つ重なったことと特別
寄稿が相次ぎ、相当なボリュームとなった。編
集部員としてはうれしい悲鳴をあげながらの作
業となった。

図書の出版作業は『わかる医学用語』の改訂
版を依頼中だが、著者の業務が多忙なため発行
には至っていない。

編集作業用として、マスコットキャラクター
の「にんげんくん」をモチーフにした編集部用
クリアファイルを作成した。原稿を執筆いた
だいた方には、そのままご利用いただいている。

34巻2号は平成27年度の発行となるが、部
活動を振り返る記念号となるため、次号も通常
よりはボリュームの多い内容を予定している。
また平成27年度は、部長の井上が産休のため部
員の増田氏が部長を代行する。部員数の減少と
作業量の増加が予想されているが、なんとか遅
れを取り戻すべく編集部員は発行作業に努める。
会員の皆さまからもあたたかいご声援とご協
力をいただけると幸いである。

3. 部員

部長: 井上智奈美 (三菱京)

部員: 岩瀬 成美 (国京医)

寺澤 裕子 (関労災)
 増田 徹 (藍野大)
 松尾 知香 (石切病)

1-2-3. 統計調査部

1. 活動報告

(1) 図書室統計調査の実施と報告書の発行

今年度の統計調査は、平成 25 年度の実状について調査した。調査項目は「詳細」と「簡易」を隔年交互に実施しているが、今年度は詳細調査の年にあたっていた。

a. 調査対象期間：2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日

b. 調査対象：全 119 会員施設中、賛助会員を除く 115 施設に依頼

c. 調査項目：年度統計調査・図書室機能調査

d. 作業経過：

2014 年 8 月 30 日付けにて、統計調査依頼文書を郵送にて送付

2014 年 9 月 1 日 電子メールにて統計調査依頼文書及び調査用データファイルの送信

2014 年 9 月 2 日 近図雲にて依頼文書及び調査用データファイルのアップ

2014 年 10 月 31 日 回答締切日

2014 年 11 月 2 日 近図雲にて未提出機関へ督促

2014 年 12 月 21 日 近図雲にて回答提出機関の確認

2014 年 12 月 23 日 データチェック、集計方法検討

2015 年 3 月 報告書を近図雲上にて公開

2015 年 3 月 統計調査実データを、公開可とした施設に発送

e. 回答施設：89 施設 (回答率 77.4%)

うち実データ公開可とした施設は 52 施設

(2) 部会

第 1 回 2014 年 5 月 24 日 (土) 尼崎 4 名

第 2 回 2014 年 12 月 23 日 (火) 尼崎 5 名

2. 文献の相互利用 —平成 25 年度協議会全体での件数—

(2015 年 3 月 19 日)

〈相互貸借依頼〉	(84 施設)	
協議会会員	7,379	(23.37%)
会員以外の病院	2,719	(8.24%)
大学図書館	14,228	(43.14%)
文献手配業者	6,299	(19.10%)
国立国会図書館	867	(2.63%)
その他	1,490	(4.52%)
	32,982	(100.0%)

〈相互貸借受付〉	(79 施設)	
協議会会員	7,690	(46.96%)
会員以外の病院	6,655	(40.64%)
その他	2,031	(12.40%)
	16,376	(100.0%)

3. 今年度総括

平成 26 年度は詳細調査を行った。89 施設 (77.4%) からの回答を得たが、近年ではこの回答率は高いとはいえない。

今年度は電子メールでの送信、もしくは協議会ホームページの会員専用ページ「近図雲」へのアップロードにより、調査用データを配布し、回答はデータでの提出を義務付けた。部員の谷口裕美子氏 (八尾) がマクロを作成し、これまでよりはるかに容易に調査結果を集計できるようになった。

また今年度より、実データを公開可とした施設には、それらの施設の実データを配布することになった。公開可とした施設は 52 施設に上り、よりいっそう統計調査結果を意義あるものとしてご活用いただけるものと考えている。

調査項目も、これまでの路線を損なわない範囲で、適切な質問になるよう部内で議論を重ね、それなりに整理できたと考えているが、検討は今後も重ねていきたい。

統計調査は協議会活動の一つであり、会発足初期から開始され、病院図書館の貴重な資料と

なっている。各会員はその重要性を認識し、督促が回答率を左右するなどということのないよう、ご協力をお願いしたい。

4. 部 員

部 長：増田 徹（藍野大）
 部 員：椎木 淳美（京都桂）
 谷口裕美子（八 尾）
 寺澤 裕子（関労災）
 畑 美之（阪警察）

1-2-4. ホームページ WG

1. 活動報告

(1) ホームページ

沿革ページに年表を掲載。
 掲示板の迷惑書き込み 2 件に対処。
 ホームページ修正のルール整備など。

(2) 近図雲

未登録施設、移行設定未完了施設への督促。
 業者とメンテナンス作業に関する連絡（42 点）。
 部活動用アカウントの発行、機関コード割り当て。
 担当者・メールアドレス変更機関への確認（4 施設）。
 PC メール配信エラー施設への連絡（7 回）。
 会員からの問い合わせへの対応。
 近図雲への話題提供・トピックへの書き込みなど。

(3) メンテナンス作業

フレンド、承認が必要なコミュニティへの参加時に承認メッセージを送信。
 日記やトピックで添付できる写真の並び順を変更。
 トピックの書き込みを上から新着順に表示
 二重投稿対策。
 近図雲書庫内の研修会資料のカテゴリ分け。
 メッセージ送信時に使用するリスト表示を機関コード順に変更。
 スケジュールの表示不具合への対処。
 近図雲内で情報を探す方法について（検討中）。

(4) 近図雲利用調査

2014 年 8 月 29 日～9 月末、近図雲管理者機能で一括メッセージ送信を 4 回実施。

登 録：114 機関

回 答：101 機関

未回答：13 機関

(5) 保守契約

保守状況を確認し保守契約を行った。

(6) 部会

第 1 回 2014 年 5 月 11 日（日）茨木 5 名

第 2 回 2014 年 8 月 24 日（日）茨木 5 名

第 3 回 2014 年 12 月 14 日（日）茨木 5 名

2. 今年度総括

平成 26 年度も 5 人で活動を行った。

ホームページは沿革ページに簡易年表を掲載した。また、各部で行っていたホームページ修正にルールを設けて適切な情報をすみやかに発信できるしくみを整えた。

会員専用ページ「近図雲」は平成 25 年度改修の検証作業が公開後にずれこみ、会員にご迷惑をおかけしたことをお詫びする。残る改修箇所は 1 カ所で本総会の議案事項に挙げている。

会員への情報伝達に用いる公式コミュニティには、各事業部の連絡事項や各種の案内が掲載された。参加申込に使用する「イベント」機能の不具合について研修部と代替策を検討した。

会員同士の情報交換に使われる会員コミュニティには、2015 年 2 月 5 日の時点でトピック数が 78 件あった。内容は連絡よりも相談が多かった。回答は平均して約 4.7 件あった。当初は部員や幹事が書き込みを行っていたが、会員同士で解決しているトピックも見受けられるようになってきた。

利用調査は開始後 3 日で 72 機関から回答があり、レスポンスの速さに驚いた。

これらのことから「離れていても助けあう」という近図雲の目的が会員自身の力ですばやくできるようになりつつある。

2014 年 11 月には残る 1 機関が近図雲への登

録を行い全機関の登録が完了した。移行設定を行っていない12機関は近図雲の登録は済んでいるため、2015年1月で督促作業を終了した。

平成27年度は近図雲が病図協の情報発信に役立つよう各事業部との連携を深め、ひきつづきホームページと近図雲の適切な運用に努める。

3. 部員

部長：寺澤 裕子（関労災）

部員：井上智奈美（三菱京）

岩瀬 成美（国京医）

増田 徹（藍野大）

松尾 知香（石切病）

I-2-5. 目録サポートチーム

1. 活動報告

(1) 近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web

版 (KITOcat) 概要 (2015年1月時点)

<https://www.melin.jp/>

登録数

登録機関数	115 機関
登録タイトル数*1	3,884 タイトル
電子ジャーナルパッケージ商品のタイトル数	7,262 タイトル
所蔵レコード数*1	25,753 レコード
電子ジャーナルパッケージ商品 所蔵レコード数	48,449 レコード

*1 電子ジャーナルパッケージ商品のタイトル除く

電子ジャーナルパッケージ商品 内訳

電子ジャーナルパッケージ商品名	タイトル数	登録機関数
メディカルオンライン	1,033	28
ClinicalKey	621	3
ProQuest	1,409	1
ScienceDirect 病院版	887	2
CINAHL with Full Text*2	577	2
CINAHL Plus with Full Text*2	757	1
MEDLINE with Full Text*3	1,469	6
MEDLINE Complete*3	2,545	1

*2 CINAHL with Full Text と CINAHL Plus with Full Text 両方にタイトルの重複有り 40

*3 MEDLINE with Full Text と MEDLINE Complete 両方にタイトルの重複有り

(参考：KITOcat の全レコード数)

参加図書館 (室) ネットワーク数	4 ネットワーク
登録タイトル数	25,065 タイトル
所蔵レコード数	202,579 レコード

(2) 近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web 版利用状況 (2014年1月~12月)

雑誌検索利用ログ：125,579

機関検索利用ログ：12,120

(3) 部会

第1回 2014年11月1日 (土) 大阪 5名

2. 今年度総括

平成26年度、目録サポートチームは5名で活動した。活動として円滑な会員間の文献複写の相互利用 (ILL) に繋がるよう、書誌マスタの登録・変更およびフルテキストデータベースの一括登録など、KITOcat の整備を行うだけでなく、2014年8月に協議会ホームページの目録ページに以前から検討していた ILL 手順 & マナーを新規に作成し、公開した。また、今後の運用について会議を開催した。

KITOcat が2013年4月に本稼働してから1年以上経過し、大きな混乱は見られなかったが、登録される電子ジャーナルパッケージ商品が増加し、一つの雑誌タイトルに複数の書誌マスタができたことで、所蔵データのつけ間違いが見られるようになった。また、電子ジャーナルパッケージ商品には、収録誌であっても embargo や収録誌単位だけでなく文献単位でのアクセス制限もあるなどの利用方法が知られてないせいか、ILL 利用で新たな問題が見られた。

KITOcat は複数の図書室ネットワークで利用する Web システムであり、電子ジャーナルにも対応した利便性のあるシステムであるが、収録される電子ジャーナル利用についての認識不足により、所蔵データ登録や ILL 利用での問題が見受けられる。これらの問題について対応を検討し、KITOcat 利用のサポートを中心とした会員機関での医療情報の提供がスムーズになるような活動を考えたい。今後の活動については会員の皆さまには目録サポートチームへ意見をお寄せいただくとともに、新部員として参加もお願いしたい。

3. 部員

部長：川野 眞樹 (京二赤)

部 員：春日井泉江（名記念）
 高須賀京子（松山市）
 高橋眞由美（島 根）
 松本 圭子（日本バ）

I-2-6. 機関リポジトリプロジェクトチーム

1. 活動報告

- (1) 機関リポジトリアンケートの実施
 調査期間：2014年7月1日～31日
 調査対象：全119会員施設中、賛助会員を除く115施設
 回答機関数：58施設（内訳：病院51、大学3、専門学校2、その他2）
- (2) リポジトリシステム・業者の調査、選定
- (3) 共同リポジトリ開設計画
- (4) 運用指針、運用マニュアル、著作権許諾ひな型の作成
- (5) リポジトリ研修会、メーリングリストを活用したリポジトリ情報収集
- (6) 部 会
 第1回 2014年6月1日（日）神戸5名
 第2回 2014年9月8日（月）茨木6名
 第3回 2015年1月11日（日）茨木5名

2. 今年度総括

第40回総会での承認を経て2014年4月から病図協共同リポジトリ開設に向けた現状調査と検討、準備を重ねてきた。現状調査ではまだまだ会員機関担当者にリポジトリの意義が理解されていないことがわかったが、メーリングリストや研修会での学びを経て、改めてその意義、期待される成果や効果への理解が広まっている。プロジェクトチームでは今後の病図協の活動の一つとして共同リポジトリ開設の必要性を実感し、開設に向けての検討を重ねた。具体的な活動としては、複数のリポジトリシステム業者の調査と見積比較による選定を行い、機能の検討や予算案の策定を行った。共同リポジトリ実務マニュアルや広報資料の作成も行っている。

平成27年度は議案IVにて会員の承認をいただき、共同リポジトリ開設・公開を行いたいと

考えている。病院図書館では、外国雑誌の高騰の影響を大きく受けており、学術情報流通の健全化が特に望まれる分野である。また、図書や雑誌の電子化も進んでおり、図書館員の存在意義や役割も時代とともに変化している。今後は蔵書管理から情報管理、情報リテラシー教育などの研究支援の増加が予想される病院図書館において、リポジトリを通じた研究支援は図書館員の存在意義の向上に寄与するであろう。リポジトリは各会員機関の社会に対する説明責任や社会貢献の一助となり、所属職員の研究成果の効果的発信、視認性向上、被引用機会の拡大をもたらす。そして図書館にとって学術コミュニケーションへの寄与、図書館サービスの高度化・活動のレベルアップをもたらす。今後も共同リポジトリ開設、公開に向けて会員の皆さまにご理解とご協力いただきたい。

3. 部 員

部 長：藤原 純子（音羽病）
 部 員：川野 眞樹（京二赤）
 高橋眞由美（島 根）
 谷口裕美子（八 尾）
 寺澤 裕子（関労災）
 増田 徹（藍野大）

1-3. 会員業績（当協議会内関係での発表は除く）

- (1) 藤原純子（音羽病）
 7年目を迎えた洛和図書館の患者図書サービス
 洛和会ヘルスケア学会集録2014；24回：220.
- (2) 武田昭子（刈谷総）
 KITOcatの開発と運用について 地域・館種を越えた協働の事例
 医学情報サービス研究大会抄録集2014；31回：47.
- (3) 伊藤友香（藤沢徳）
 切り絵（JHLA ミニコレクションクローズアップ）
 ほすぴたる らいぶらりあん2014；39（2・3）：73.

議案Ⅱ. 平成 26 年度会計・監査報告

2015 年 3 月 5 日に、関西労災病院において会計監査が行われ、会計処理が適切に行われていることが確認された。

(資料 1) 平成 26 年度予算

■収入の部		(単位：円)
科 目	金 額	備 考
正会員会費	3,480,000	116 施設 ×3 万円
賛助会員会費	200,000	4 施設 ×5 万円
購読会員会費	96,000	32 施設 ×3 千円 (16 施設は入金済み)
広告掲載料	110,000	33 巻 ×4 社
前年度繰越金	5,432,604	
合 計	9,318,604	

■支出の部		
科 目	金 額	備 考
〔事業費〕		
研修部	500,000	
会誌編集部	400,000	33～34 巻 1～2 号分@5 万円、取材費など
統計調査部	200,000	
ホームページ WG	100,000	
目録サポートチーム	400,000	研修会 1 回
対外活動費	600,000	関連団体への派遣費用
その他事業	1,800,000	研究助成金、交流会、書籍配布、新規事業など
事業費合計	4,000,000	
〔管理費〕		
会誌発行費	3,000,000	33 巻、34 巻各 2 号 4 冊分 ×41 万円、本出版費用
目録メンテナンス費	150,000	月額 1 万円
HP メンテナンス費	300,000	月額 2 万円
資料費	25,000	「情報の科学と技術」
資料管理費	40,000	協議会資料
会議費	100,000	総会、幹事会 (総会は平成 25 年度分)
旅費交通費	300,000	総会参加助成金 3 万円 ×5 人を含む
通信運搬費	120,000	郵送 1 回につき約 1 万円
印刷製本費	50,000	総会資料など
諸謝金	55,000	総会特別講師 5 万円
消耗品費	500,000	協議会備品の整備、バッジ作製など
業務委託費	20,000	
予備費	400,000	
雑費	258,604	
管理費合計	5,318,604	
合 計	9,318,604	

(資料2) 平成26年度 活動計算書

平成26年3月1日～平成27年2月28日

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員	3,450,000	
賛助会員	200,000	
正会員入会金	30,000	
賛助会員入会金		3,680,000
2. 受取寄付金		0
3. 事業収益		
会誌購読会費	186,000	
研修会参加費	3,000	
広告掲載料	110,000	
刊行物売上	243,500	
メディカルオンライン使用料	3,052	545,552
4. その他収益		
利息	999	
雑収入		999
経常収益計		4,226,551
II 経常費用		
1. 事業費		
研修部	400,539	
会誌編集部	129,594	
統計調査部	32,659	
ホームページ WG	43,740	
目録サポートチーム	128,228	
対外活動費	105,700	
その他事業	605,691	
事業費計		1,446,151
2. 管理費		
会誌発行費	1,007,370	
目録メンテナンス費	130,032	
HP メンテナンス費	293,026	
資料費	21,504	
資料管理費	12,868	
会議費	61,766	
旅費交通費	74,320	
通信運搬費	86,357	
印刷製本費	26,450	
諸謝金	30,000	
消耗品費	253,508	
業務委託費		
租税公課		
予備費		
雑費	68,964	
管理費計		2,066,165
経常費用計		3,512,316
当期正味財産増減額		714,235
前期繰越正味財産額		5,432,604
次期繰越正味財産額		6,146,839

①+③=9,659,155

②+④=9,659,155

(資料3) 平成26年度経常費用事業費内訳

(単位：円)

	会議費	旅費交通費	通信運搬費	印刷製本費	資料費	諸謝金	消耗品費	業務委託費	雑費	計
1. 事業費										
研修部	51,117	199,306	29,131	19,071		65,000	395		36,519	400,539
会誌編集部	1,885	15,200	43,848		3,353	10,000	45,576		9,732	129,594
統計調査部	5,405	10,030	9,384	7,840						32,659
ホームページ WG		1,300	9,960	32,480						43,740
目録サポートチーム	23,208	105,020								128,228
対外活動費		105,700								105,700
その他事業	110,811	65,040	20,414	10,710	392,700		6,016			605,691
計	192,426	501,596	112,737	70,101	396,053	75,000	51,987	0	46,251	1,446,151

(資料4) 貸借対照表兼財産目録

平成27年2月28日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
手元現金	263,734		
ゆうちょ銀行(総合)	4,499,947		
ゆうちょ銀行(振替)	984,308		
amazon 用口座	398,850		
流動資産合計		6,146,839	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			6,146,839
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,432,604	
当期正味財産増減額		714,235	
正味財産合計			6,146,839
負債および正味財産合計			6,146,839

(資料5) 監査報告

平成26年度 活動計算書
平成26年3月1日～平成27年2月28日

科目	金額
I 経常収益	
1. 受取会費	
正会員	3,450,000
賛助会員	200,000
正会員入会金	30,000
賛助会員入会金	3,680,000
2. 受取寄付金	0
3. 事業収益	
公益講座会費	186,000
研修会参加費	3,000
立寄掲載料	110,000
刊行物売上	243,500
メディアオンライン使用料	3,032
4. その他収益	545,532
利息	999
雑収入	999
経常収益計	4,226,551.0
II 経常費用	
1. 事業費	
研修部	400,539
公益編集部	129,594
統計課支部	35,659
芥川賞WG	43,740
図書館ネットワーク	128,228
印刷印刷費	105,000
その他事業	96,691
事業費計	1,446,151
2. 管理費	
会社経行費	1,007,370
目標マネジメント費	130,032
IPマネジメント費	293,026
資料費	21,504
資料管理費	12,868
会議費	61,766
旅費交通費	74,320
通信運搬費	86,357
印刷費	26,450
諸謝金	30,000
消耗品費	253,508
委託多任費	
委託公債	
印刷費	
雑費	68,964
管理費計	2,066,165
経常費用計	
当期正味財産増減額	3,512,316.0
前期繰越正味財産額	714,235
次期繰越正味財産額	5,432,604.0
次期繰越正味財産額	6,146,839.0
① + ② =	9,659,155
③ + ④ =	9,659,155

貸借対照表兼財産目録

平成27年2月28日現在

科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金	953,734
当座預金(振替)	4,499,347
ゆうちょ銀行(振替)	894,308
三菱UFJ銀行	398,850
流動資産合計	6,146,839
2. 固定資産	0
固定資産合計	0
資産合計	6,146,839
II 負債の部	
1. 流動負債	0
流動負債合計	0
2. 固定負債	0
固定負債合計	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	5,432,604
当期正味財産増減額	714,235
正味財産合計	6,146,839
負債及び正味財産合計	6,146,839

平成26年度経常費用事業費内訳

科目	金額	資料費	印刷費	雑費	計
1. 事業費					
研修部	51,117	199,206	29,131	19,071	400,539
公益編集部	1,855	16,200	43,848	3,353	65,000
統計課支部	5,405	10,030	9,384	7,840	32,669
芥川賞WG	1,300	1,300	9,960	32,490	43,740
図書館ネットワーク	23,298	105,000			128,298
その他事業	110,811	68,690	20,414	10,710	209,625
事業費計	192,436	501,596	112,737	70,101	876,870
管理費					
会社経行費	1,007,370				1,007,370
目標マネジメント費	130,032				130,032
IPマネジメント費	293,026				293,026
資料費	21,504				21,504
資料管理費	12,868				12,868
会議費	61,766				61,766
旅費交通費	74,320				74,320
通信運搬費	86,357				86,357
印刷費	26,450				26,450
諸謝金	30,000				30,000
消耗品費	253,508				253,508
委託多任費					
委託公債					
印刷費					
雑費	68,964				68,964
管理費計	2,066,165				2,066,165
経常費用計					
当期正味財産増減額					3,512,316.0
前期繰越正味財産額					714,235
次期繰越正味財産額					5,432,604.0
次期繰越正味財産額					6,146,839.0

平成26年度活動計算書と事業費内訳、貸借対照表兼財産目録を監査した結果、適法に処理、記載されていると認めます。

平成27年3月5日

石川尚子

石川尚子

石川尚子

議案Ⅲ. 研修会・勉強会案内の郵送廃止について

研修会・勉強会案内は、これまで近図雲と印刷資料の郵送にて行ってきた。このたび近図雲でのお知らせの周知が浸透してきたことを受け、ペーパーレス化と郵送コスト削減を目指し2015年4月からの研修会・勉強会案内は郵送を廃止し、近図雲での広報に一本化したい。

(提案者：研修部)

議案Ⅳ. 近畿病院図書室協議会共同リポジトリ「KINTORE」の構築および公開について

機関リポジトリプロジェクトチームにて、平成26年度は会員機関発行物や現状調査を行い、共同リポジトリ構築の可能性を検討してきた。研修会を経てリポジトリの意義に賛同する会員も増加している。各施設の発行雑誌、紀要の著作権ポリシーをリポジトリ参加に向けて改訂する会員もあり、リポジトリの需要は充分にあるといえる。平成27年度より、共同リポジトリの構築作業として、システムはアグレックスに委託発注を行い、設定、成果物の登録を行い、何らかの研修や広報を経て本公開を行いたい。

名称については、「近畿病院図書室協議会共同リポジトリ (repository)」愛称「KINTORE」とし、多くの会員機関にご参加いただきたい。
(提案者：機関リポジトリプロジェクトチーム)

議案Ⅴ. 事業部の名称変更について

機関リポジトリプロジェクトチームの名称を「リポジトリ部」に変更したい。
(提案者：機関リポジトリプロジェクトチーム)

議案Ⅵ. 平成27年度活動方針

研修会や勉強会は、今年度の活動を継続して

いきたい。会誌の発行は年2回の発行とし、発行の遅れを取り戻せるよう努力するとともに、今年度出版できなかった濱口恵子氏の『わかる医学用語』改訂版を出版したい。ホームページは会員専用ページ「近図雲」がより会員に親しまれると同時に、これまで郵送していた会員へのお知らせをできるだけ減らしていきたい。KITOcatは、Web目録および相互利用システムとして運用を続けていく。共同リポジトリについては、協議会として決めた方向ですすめていく。

議案Ⅶ. 平成27年度事業計画

1. 教育研修活動

- * 研修会・勉強会の開催
- * 研修会参加交通費の助成
- * 関連団体の研究・研修会への案内と参加奨励
- * 研究助成金制度の継続
- * 総会参加助成制度の継続
- * 地域交流会の開催

2. 出版広報活動

- * 会誌「病院図書館」の発行
- * 図書の出版
- * ホームページの公開とそのメンテナンス
- * 会誌・会報バックナンバーの収集保存および公開
- * ニュースレターの発行

3. 医学文献情報活動

- * 医学雑誌現行情報の収集
- * 雑誌総合Web目録の維持・管理
- * 共同リポジトリの構築

4. 年次統計などの調査活動

- * 年次統計と相互貸借の調査

5. 対外活動

- * 関連団体との交流・連携

議案Ⅷ. 平成 27 年度予算

(資料 6) 平成 27 年度予算

■収入の部			(単位：円)
科 目	金 額	備 考	
正会員会費	3,450,000	115 機関×3 万円	
賛助会員会費	200,000	4 施設×5 万円	
購読会員会費	45,000	33 巻×3 カ所、34 巻×12 カ所	
広告掲載料	92,500	34 巻×4 社	
前年度繰越金	6,146,839		
合 計	9,934,339		

■支出の部			(単位：円)
科 目	金 額	備 考	
〔事業費〕			
研修部	300,000		
会誌編集部	400,000	34 巻、35 巻 1～2 号分@ 5 万円、取材費など	
統計調査部	100,000		
ホームページ WG	50,000		
目録サポートチーム	200,000		
リポジトリ部	810,000	研修会、資料作成費、MIS で発表など	
対外活動費	300,000	関連団体への派遣費用	
その他事業	400,000	研究助成金、交流会など	
事業費合計	2,560,000		
〔管理費〕			
会誌発行費	3,000,000	34 巻、35 巻各 2 号 4 冊×41 万円、出版事業 130 万円	
目録メンテナンス費	150,000		
HP メンテナンス費	300,000		
リポジトリメンテナンス費	1,330,000	初期費用 (オプション含む) 68 万円、運用保守費用 65 万円	
資料費	25,000	情報の科学と技術	
資料管理費	40,000		
会議費	150,000		
旅費交通費	300,000	総会参加助成金を含む	
通信運搬費	120,000		
印刷製本費	50,000	総会資料など	
諸謝金	55,000	総会特別講師料など	
消耗品費	80,000		
業務委託費	20,000		
租税公課			
予備費	1,500,000		
雑費	254,339		
管理費合計	7,374,339		
合 計	9,934,339		